

隔日刊 食品新聞

発行所 食品新聞社 http://www.shokuhin.net/



はばたきの年へ。おいしい仲間たち。サントリー缶詰

主な内容 食品産業センター・村上秀徳理事長に聞く

新時代へ駆ける食品業界

食の価値観をアップデート

2019年、平成31年が始まった。今年の場合、始まりは終わりに、終わりは始まり。平成という時代区分は日本に存在するものの、その時代区分を象徴する空気がわが国には存在する。4月30日をもって平成は終わり、新しい元号のもと、食業界も新しい時代へ歩を進めることになる。

増税、統合相次いだ「平成」大災害で政治・経済

「平成」を振り返ると、バブル崩壊ははまり、阪神淡路大震災、東日本大地震と2つの大災害を経験、リーマンショックを経て自相が17年変わった。食品業界においては、消費税の導入で価格競争が一層激化。偽装表示に代表される諸々の不祥事では、食の安心・安全に対する消費者の視線が一層厳格になった。



EU-Japan Summit 日EU首脳協議

消費意識は変わるのか キャッシュレス時代へ

国は来年に迫った東京五輪開催に向けキャッシュレス化を進めようとしている。キャッシュレス化は「経済の活性化と、社会コストの削減につながる」というのが表向きの理由だが、果たして消費者は、年間3000万人を超えた訪日旅行者の利便性の確保にどう対応するのだろうか。

抱え込め 訪日旅行者 中国SNS活用で

一方、インバウンドについては、昨年、訪日旅行者数が3千万人を突破した。この10年で3倍強となった。国別では中国と韓国が拮抗し、全体の50%が両国で占める。

「ニッポン」品質「健在」TPP11/EFTA

昨年12月30日にTPP11が発効、農産物の重要品目が関税削減や輸入枠など大幅な市場開放の時代に入った。農水省試算では、最終的に国内農林水産物の生産額は約900億、1千500億円減少する。500億円減少する。

「LINE」で新物流モデル 協業、連携で自助努力進む

物流費の高騰はここ数年も加わらず。食品業界全体を巻き込んでいる。物流を担う運輸会社の多くは、人手不足が深刻化している。外食産業の場合は、この課題は改善された。大手大手、燃料費高騰を今年4月には味の素社、ハウコムに運賃を引き上げた。共同配送の運用をスタートした。物流問題は今年も喫緊の課題になる。今年も喫緊の課題になる。今年も喫緊の課題になる。

LINEとOUTパスの両軸 集中・選択から囲い込み時代へ



LINEとOUTパスの両軸。集中・選択から囲い込み時代へ。LINEとOUTパスの両軸。集中・選択から囲い込み時代へ。

LINEとOUTパスの両軸。集中・選択から囲い込み時代へ。LINEとOUTパスの両軸。集中・選択から囲い込み時代へ。

LINEとOUTパスの両軸。集中・選択から囲い込み時代へ。LINEとOUTパスの両軸。集中・選択から囲い込み時代へ。

LINEとOUTパスの両軸。集中・選択から囲い込み時代へ。LINEとOUTパスの両軸。集中・選択から囲い込み時代へ。

LINEとOUTパスの両軸。集中・選択から囲い込み時代へ。LINEとOUTパスの両軸。集中・選択から囲い込み時代へ。

LINEとOUTパスの両軸。集中・選択から囲い込み時代へ。LINEとOUTパスの両軸。集中・選択から囲い込み時代へ。

LINEとOUTパスの両軸。集中・選択から囲い込み時代へ。LINEとOUTパスの両軸。集中・選択から囲い込み時代へ。

LINEとOUTパスの両軸。集中・選択から囲い込み時代へ。LINEとOUTパスの両軸。集中・選択から囲い込み時代へ。

Nipponham みんなの食卓 advertisement with images of food and product packaging.

食物アレルギー対応「みんなの食卓」シリーズは、特定原材料7品目を使用しておりません。卵、乳、小麦、そば、落花生、えび、かに。左記7品目を使用しない食物アレルギー対応の専用工場が製造しております。